

ハニーハート

登録番号：第5670号

登録年月日：平成9年7月28日

登録者：(独)農業・食品産業技術総合研究機構（茨城県つくば市観音台三丁目1番地1）

育成者：吉田雅夫 京谷英壽 西田光夫 山口正己 中村ゆり 西村幸一

小園照雄 土師 岳 三宅正則

福田博之 木原武士

来歴：「ソルダム」と「西田」の交雑実生

育成地：茨城県つくば市藤本（(独)農研機構 果樹研究所（茨城県つくば市藤本）

特性

■栽培特性

樹勢はやや強く、樹姿は開張性である。新梢の発生はやや多く、花束状短果枝および花芽の着生も多い。花弁は白色で楕円形、大きさは中くらいである。花粉を有するが自家不和合性であるため受粉樹の混植が必要である。収穫期は満開後110日程度となる中生品種で、「ソルダム」より約1週間早く、「サンタローザ」と同時期である。

■果実特性

果形は円形で果頂部縫合線の反対側がわずかに突出する。梗あはやや浅く、広さは中程度、縫合線の深さは中くらいである。果実の大きさは85g程度となり、「ソルダム」よりやや小さい。果皮の地色は緑黄色で、成熟に伴い果面全体が紅紫色に着色し、黄緑色の果点が残る。果粉は多い。果面は全面が紅紫色に濃く着色するため、すれが目立たず、外観は良好である。生理的落果や裂果の発生は少なく、空洞果の発生はほとんどみられない。果肉は濃紅色でやや硬く、繊維は少、肉質はやや密である。果汁は多く、日持ち性は良好である。糖度は11~14%で「ソルダム」と同程度、酸味はpHで3.7~4.5と少ない。成熟の比較的早い時期から酸味が抜けるため、軟らかい食味が特徴である。核は粘核で大きさはやや小さく、表面は滑らかである。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

黒斑病の発生は少ないが、灰星病は中程度発生する。

受粉が良好であれば豊産性となるが、自家不和合性であるため、受粉樹の混植が必要である。開花期が「ソルダム」や「大石早生すもも」などの主要品種にくらべて早いため、受粉樹としては開花期が同時期の「ハニーローザ」が有効である。

早採りでは糖度が不足して品質が劣るため、収穫は果皮全面が紅紫色に着色したときが適期である。また、結実過多は果実の肥大不良や糖度の不足を招くため、適切な着果管理が必要である。

■地域適応性

東北地方から九州地方までのスモモ栽培地域で栽培が可能である。特に、スモモの酸味の抜けが不良になりやすいとされる関東以北の地域に適していると思われる。晩霜害の被害を受けやすいので、防霜対策が必要である。

(末貞佑子)